

主 な 記 事

- 年頭就任挨拶…………… 1
- ニューヨーク大学にて…… 2
50周年を迎う
- 総会記事…………… 6

千曲会報

昭和36年1月1日発行

長野県上田市常入
信州大学繊維学部内
編集兼発行人 小山 長 雄

信州大学繊維学部内
発 行 所 社団法人 千曲会

昭和31年6月18日第3種郵便物認可 毎月1日発行 定価1部15円 振替口座 長野 6243 東京 43341

頌 春

1961年

年頭就任の挨拶

理 事 長 萩 原 清 治

年頭にあたり母校の先生、職員並に全国会員各位の御健康を祝福し、あわせていよいよ御多幸ならんことを心から祈念申し上げます。さて先般の総会における役員改選にあたって不肖私が理事長の重責を負うことになりました。野口前理事長は3期6ケ年にわたり千曲会発展のために数々の業績を残し、就中50周年記念事業に対する統率振りは鮮やかで恰も掌中を指すが如きで正確なる

計画のもとに大事業を完遂し、その功績は永く銘記されるものであります。その後をうけて生来愚鈍な私が選ばれたことについてはその任でないことをおそれると共に光榮に存ずる次第であります。幸にして私とともに選出された理事各位は何れも立派な卓抜の人々なのでこれら諸氏の驥尾にふし、御支援御協力を得て厩馬に鞭うちつつ微力をつくしたいと思っております。これまでと同様に御交誼御指導の

程を御願いたします。母校が生れて50年、奇しくもこの時一紀元を画するように学部の大改革のことが計画されているのであります。学部の改革は勿論学部当局が中核となり独自の立場にたって進めるべきものであります。前理事長が常に言うように学部も千曲会も念うことは一つであり、如何にしたら学部の発展を期することが出来るかと言うことであります。

その理念と行動とは常に学部と表裏一体であり、車の両輪の如くでなければなりません。吾々は今後一層学部と緊密な連絡をとり、本会で担当しなければならぬことは会員の総意を反映するように総会、役員会その他適当なところで充分

に検討し処理して行きたいと思っております。憶うに物事の生々発展をするにはマンネリズムから脱却することが必要であります。それには常に新しき生気の活入れを必要とします。今回の役員選挙にあたってはその趣旨を充分に入れてもらいたかったのであります。徒らに議論をただけでは発展はありません。どこまでも誠実に実行に移すことであります。母校

が生れて半世紀を閲みし会員5000の大巨体は長い間にいろいろの故障もおきていることは認めねばなりません。この故障を修復し潑刺たる生気を漲なざらせるには若々しい栄養元を多量に供給し、これを若がえらせた血管を通して身体の末梢まで送り込み、更に中枢部は常に末梢各部と正確適切な情報を交換しあい、毎日の活動状態を熟知する必要があります。その栄養元となるものは千曲会費であり全会員が滞りなく納入する

ことにより強力なる栄養態勢が整うのであります。最近だんだんと納入率はあがって来たのであります。また30%内外でありますので各位の一段の協力を御願いたします。また血管となる千曲会報は編集者の苦心の所産であります。今後は全会員が毎回の発行を鶴首してまっているような内容をもるようになり工夫していきたいと思っております。(郵便法に規定された範囲において)この会報は全会員に配布していますが前記のような少ない会費の一部でまかなっている実情です。

更に末梢までの連絡の役目をはたすものは会員名簿でありますので動静部は支部と緊密な連絡をとり活動状態、住所の正確を期したいと思っております。この三要件が一体となって活動



浅間の樹水

を続けることにより千曲会の巨体も軽快且つ円滑に活動することができ、今後の隆盛を期することができるのであります。昨年の総会において決議された課題は千曲会の強力な活動態勢の実現、学部改革に対する適切な援助、上田繊維科学振興会の設立、運営その他でありこれらは是非実現しなければなりません。そしてこの実行も千曲会の体力が充実することによって実現可能となってくるのであります。会員の皆さん、特に青年中堅会員の皆さん倍旧の奮起と御協力を願ってやまないであります。

次に賛助会員であられる教官並に職員の皆さん、従来皆さんと千曲会員との間に稍々もすれば融和を欠いた嫌いがなかったでもありませんでした。吾々は学部のいろいろな事項について独善的に処理しようなどと言う考えは毛頭もっておらず常に学部に対する協力者としての立場を持しているのであります。そして吾々は皆さんを賛助員として推戴し、常に皆さんの意見を尊重し、御指導を乞い、皆さんと共に学部発展の方策について考えているのであります。吾々正会員の学校在

住は3~4年であります。皆さんは長い人は10~20年と在職されており、学校との血のつながりから言えば吾々より遙かに濃い筈であります。吾々は皆さんを恩師とおおき敬愛しているのであります。どうか吾々の意のあるところを御理解ください、今後は親しく膝を交え、学部将来の発展策について慎重に検討し、また前項にあげた諸問題についても十分に語りあい、立派な果実をみのらせたいと思っています。また千曲会の学部に対する援助は社会的活動の面許りではありません。学門の場である学部に対してこの方面においても立派な役目を果さなければなりません。それには会員各位は振って研究方面においても努力を続け実績をあげる必要があります。記念計画として科学振興の議がとりあげられたのもその意中の現われであります。会員各位にはいよいよ健康に留意され雄大な抱負をもって千曲会の使命達成のために邁進されることを切に御願いする次第であります。以上年頭の辞をのべるとともに私の意中を披瀝して理事長就任の御挨拶とします。

ニューヨーク大学にて50周年を迎う

北 条 舒 正 (化1卒)

千曲会ならびに母校の皆様ノその後お元気におすごしのことと存じます。創立50周年の記念行事もすべて盛會裡に終わった様御同慶にたえません。私は9月30日羽田を発ってニューヨークにきています。本年は母校にとって意義のある年であり、その上柄にもない記念事業募金実行委員会の副委員長にさせられまして、その役目もろくにはたさず渡米致しましたが、色々の事情で渡米をこれ以上延期出来ませんでしたのでその点お許し下さい。こちらに来て一ヶ月程で未だ事情は良く判りませんが、当ニューヨーク州立大学は各部門に別れていて、私の居ります Long Island Center は近く大きい建物が完成する予定で、目下の所それ程完備しているとは言えませんが、上田から来ますとずい分と揃っている様です。先日ブルクリンのポリテリニックインスティテュートに参り合成化成化学の部屋を見ましたら余り差はなく新しいのでこちらの方が良い様に思いました。こんな所が標準ではないでしょうか。マンハッタンより車で30~40分、列車ですと一時間程です。ヨーロッパ移民の人がその土地を州に寄附して作られたもので広大な敷地に世界中の樹を集めてその間に芝生を植込んだ実に立派な公園と言える様な内に建物がありません。

日本のつつじやさくらの木もあり春がたのしみです。ドクターコースがありませんので学生の学力は大したことありません。実験と講義が一体(3年以上)となっていて本当に実力をつける様にやっています。(本だけで反応や操作を学ぶのではない)大体1クラス10人前後で学生はとてもおとなしく映画でみられるアプレは全くいませんし、先生の言う事を何でも良く従う等は日本では考えられなかった点です。

講義は Text Book を多く使用しノートは演習以外は余り使用せず能率本位の様です。中には Prof. の目をぬすん

で我々に質問に来ます。恐らくホームタスクでしょう。学生用の棚には常に採点した紙やノートが置かれてあるので相当しぼられている様です。先生も大変だと思います。女子学生も30~40%多て既婚の人が多く平ズボンの男らしい姿で歩き廻られるのは全く目の毒です。ゼミナーは極めて活潑で週に2回他の大学の先生が来て自分の専門のことを話しそれを皆で質問攻めにしています。これには専門以下の方も多分判らないと思うのですが聞いているのには感心します。研究室に時々一般市民と思われる人がハイスクール位の子供をつれてのこのこ入って来ます。おそらく志望校の下見でしょうか。自分達の Tax で運営しているとも思っているのでしょうか。日本では見られない風景です。Oyster Bay は住宅地で庭の広い芝生の美しい木造に2階位の家が並んでいます。閑静の点では上田以上です。数十軒の商店がありますがドラッグストアとかマーケット等を除くと土曜日はもちろん他の日も良く休んでいてあれで商売になるかと思う位です。買っても日本みたいには有難たがりません。肉、にわとりは安くバナナ100匁30円位、リンゴは60円位です。繊維、紙は高く質も上等ではありません。日本人は一人ですがじろじろ見られることは全くないので有難く、先方から何やらあいさつします。海岸がすぐ近くです。休みに出かけますが自動車の後にポートをのせて来ては海上をとばしています。魚つりした砂浜でねそべって太陽の下でホットシーンをしているのがありますが皆平気でそばを歩いています。月~金迄は相当な重労働で日本の6日分は充分にやるのでつかれます。その意味でも思い切って遊んだりあるいは終日ベランダで300~500ページもある新聞の日曜版をみてたのしみです。魚はあまり売っていませんが自身のおいしいのが時々出るのでとれるのだと思います。休みに N. Y. に出ますが郊外電車、地下鉄も混まなけれ

ば日本の方が数段すぐれています。手が足りないのか汚れてうすぐらいです。2階建のも走っています。N.Y.は良くあんな建物を作ったものと思われませんが高すぎると不便らしく今後はエンパイヤーみたいなものは作られないと言われていいます。町を歩いても谷底みたいで10~11時から3~4時迄しか陽が当りません。普通の店でも品数は少なく、日本の様に明るくはないので案外だと思っています。宝石店が多いのが目につきます。夜のタイムズスクエアーも明るいのは格別ですが東京からみると全くものたりない感じが致します。恐らく私の知らない所に良い所があるのかも知れませんが、3年程住んでいる人もそんなことを言っていました。マンハッタンの場末の住宅街、支那街では汚れた建物、生活につかれた人々が目につきます。大統領選挙が数日後ですが、私の町では日本の様にさわがしくありません。ただ不思議なのは女性が中心で男性の運動員は余りみられません。自動車をつらねてマクをりしろにつけている位です。N.Y.の町では道端に運動員(女性)が立っていますがうるさい程ではありません。先日、日本の高分子関係の業界、学界の代表35名に上る大規模な世界視察団がヨーロッパを廻ってやって来ました。私も

一行といっしょにブルクリンのポリテクニクインスティテュートを見学しましたが、当日は“Japan Day”で午前中は見学、午後は各教授の最新の研究のトピックを話してくれました。内容は面白いもので中にはガスの焰の中に5~7分入れて真赤になっけても何ともない繊維もありました。(ガラスや石綿ではありません。詳細には何かの形で発表されるのでしようから略します)有名なMark[®]を始め雑誌で良くお目にかかった先生方とも交歓出来て有意義でした。その晩荒井団長と2人で“案外日本はよい国だ”とおそく迄のみ乍ら語り合いました。見て来た中で将来恐しいのは西独だと言っていました。

色々とかだらしないことを書きましたがジェット機で5時間もかかる国です。ほんの一点しかみていないので間違っているかも知れません。何れ又しばらくしたら又お便り致します。寒くなるので呉々も御自愛の程祈ります。 11月4日

Nobumasa Hojo

c/o Dept of Chem State Univ. of New York, Oyster Bay; Long Island, New York, U. S. A.

新 年 と 会 報

白 井 美 明

新年にはいい合せたように「おめでた」を連発するその由来の一つはこの機会に新しい希望と大きな抱負とを期待する所にある。正月気分はいろいろの行事によって盛り上げられる。もし常と同じであったら決して正月気分は起らないといえる。これあるために「おめでた」が生きてくる。もっとも無理にこじつけてめでたい意味をもたせた行事もないとは云えないが。ところでおごちそうで胃弱というケースもこの頃に起りがちであるのは誰も知っている。

学部も今正月行事に取りかかっている。余りこじつけた行事はいただけないが、正しい学部改革はぜひ欲しいものだ。それで学部50年周期の出発もやっぱりおめでたいということになる。同窓千曲会も亦然りを乞願う。名理事長の任期満了

に引続き、期待して止まぬ新理事長のもと、理事の事務分担も一新され評議員の増強と相待って、千曲会は新生に脈打っている。本報もまた同じ。ここにもおめでたいが独りてに出てくるというものだ。会報は鎌達の土香山氏を迎え、内に小林尚一理事以下有能な評議員諸氏が多数参画して出発する。その充実振りに満腔の敬意と期待とを寄せるものである。新年はよきものである。信州そばのつなぎとして役立ったか否かを恐れつつ去年までのつたない編集によせられた御厚意に感謝し、新そばの香りを本年から充分満喫していただけることを御報告申し上げる。つなぎを多く入れたそばの味はまづいましてや薬味にも乏しい私の調理であったため何かと御迷惑をおかけしたことを御詫びをする。



用 水 処 理 剤

- 繊維加用水の処理.....金属イオン封鎖剤
CHELATE-S
- ボイラー用水の処理.....高純度清浄剤
CHELATE-B
- 精練・漂白助剤.....CHELATOLE-60
- 食品添加剤.....CHELATE-F

○ 詳細説明書御申込次第お送り申し上げます。

日東化工株式會社

東京都目黒区足洗1442番地 電話 (781) 9526

特 許 ・ 実 用 新 案

意匠・商標 出願・審判・訴訟代理

浜 特 許 事 務 所

弁 理 士 浜 香 三

事務所 東京都港区芝南佐久間町1ノ51

電 話 東 京 (501) 9202

自 宅 東京都武蔵野市緑町公園住宅7ノ302

謹 賀 新 年

信大繊維学部養蚕学科 竹 田 寛 上田市常入官舎	信大繊維学部付属農場 納 谷 留 藏 上田市中常田 369	宮 城 博 更埴市大字中 367 TEL 厩代 321	信大繊維学部製糸学科 柳 沢 延 房 上田市常入官舎
信大繊維学部養蚕学科 武 田 晃 上田市緑ヶ丘	信州大学名誉教授 林 貞 三 上田市大字上田 TEL 1500	信大繊維学部会計係長 水 崎 広 沖 上田市北天神町	信大繊維学部養蚕学科 山 口 定 次 郎 上田市木町 6119
信大繊維学部養蚕学科 田 中 一 行 上田市連歌町	北 条 舒 正 Department of Chem. State Univ. of N.Y. Oyster Bay, Long Island N. Y. U. S. A.	信大繊維学部付属農場 宮 原 大 正 治 上田市上川原柳町	信大繊維学部製糸学科 吉 井 精 一 小県郡和田村
信大繊維学部付属農場 田 中 茂 光 上田市大字福田	信大繊維学部付属農場 町 田 博 上田市下川原柳町	学部改新事務係 母 袋 良 平 上田市下塩尻	和 田 竜 酒 造 和 田 晋 上田市鎌原 TEL 上田461
信大繊維学部付属農場 田 中 豊 美 上田市中常田 751	信大繊維学部養蚕科 松 尾 卓 見 小県郡東部町和	日本学術会議会員 八 木 誠 政 上田市新参町	昨冬移転しました。相変らず御交誼の程御願ひ申し上げます。 岸 勝 弥 前橋市萩町 62
信大繊維学部養蚕学科 長 島 栄 一 上田市松尾町 5136	信大繊維学部紡織学科 三 浦 乾 太 郎 上田市材木町 57	信大繊維学部養蚕学科 矢 木 博 上田市材木町	編集部員一同 田 口 亮 平 白 井 美 明 矢 彦 沢 清 允 降 旗 剛 寛 篠 原 昭 昭 小 笠 原 真 次 滝 沢 達 夫 白 井 要 範
信大繊維学部庶務係長 中 島 暹 上田市秋和 736	信大繊維学部紡織学科 美 齊 津 利 正 小諸市八満 429	信大繊維学部付属農場 柳 沢 幸 男 上 田 市 中 村	

昭和 36 年度 千 曲 会 事 務 分 担

総務部 理事 山口定次郎 評議員 関 博夫 青沼 茂
 庶務部 理事 中 島 暹 評議員 竹田 寛 田中一行
 会計部 理事 町 田 博 評議員 田中茂光 白井要範
 小山よし子 幹事 宮下明治
 会報部 理事 香山清和 小林尚一 評議員 西村善次 柳
 沢幸雄 中原 武 大屋正尚 一ノ瀬匡典 幹事 小山 定
 動静部 理事 坂口育三 評議員 石川博 三石賢 美齊津
 利正 押金健吾 柳沢連子 幹事 小笠原真次 滝沢達夫
 吉田千佐子
 厚生部 理事 白井美明 評議員 小山長男 土屋幾雄

幹事 野沢潤子
 出版部 理事 松尾卓見 評議員 遠藤恒久 桜井善雄 矢
 彦沢清允 降旗剛寛 幹事 松橋房江 東川静夫
 学術部 理事 田口亮平 北条舒正 評議員 古平福紀 篠
 原昭 阿久津伊平 幹事 河村恒雄 大工原建 飯島莊資
 窪田衛二

以上の組織で今後運営されることになりました。会員各位
 の絶大な御援助と御鞭撻とを御願ひいたします。尚新任さ
 れた各位には誠に御苦勞様ですが本会のため御活躍下されま
 すよう御期待申し上げます。

第21回千曲会総会議事抄録

11月23日定例の千曲会総会が学部会議室において開催され各地支会より76名の代議員役員が参集された。委任状提出は11支会。当日の議長には北信支会の宮城博氏、副議長には神奈川支会の萩野喜次氏が選出され議事に入った。会の次第および主な内容は次の通りである。

- 1 理事長挨拶 野口 理事長
- 2 名誉会長挨拶 小泉 学部長
- 3 会務報告 中島 理事
- 4 議長選出 5 議 事

1 理事長挨拶 本会は学部と表裏一体の立場で歴史的大事業である母校50周年祝賀事業が盛大に滞りなく行われたことについて会員各位のよせられた御協力に感謝する。これを機会に千曲会、母校の発展をはかりたい。現在母校では根本的な体質改善を計っており一部実現しつつある。これら諸般の議事について御審議を願いたい。

名誉会長祝辞 50周年祝賀行事の盛会裡に終わったことを衷心より感謝する。学部の新学科増設既設学科の改組拡充については後刻申し上げるが根本的漸新策を考えており繊維機械学科の新設については極めて明るい見通しで進行しておる千曲会一段の御協力を希望する。

会務報告 中島理事説明 5月・10月に理事会を拡大役員会の形で開催、そのさい50周年記念事業実行委員会も併せて行い50周年記念事業の申込完納の総仕上、協賛会の設立等事業の円滑なる推進策について協議した。各支会総会は適時に開催された。申請のあった支会には本部より理事出席支会活動も活発であった8月より京滋支会が近畿支会より独立結成され43支会となった。千曲会員は現在4463名の盛況である。

議 事

- ①昭和34年度収支決算について(本部)
- ②50周年記念事業収支決算について(〃)
- ③50周年記念事業千曲会施設拡充について(〃)
- ④50周年記念事業剰余金の処理について(〃)
- ⑤昭和36年度収支予算案について(〃)
- ⑥上田繊維科学振興会設立について(〃)
- ⑦針塚長太郎先生追想録刊行について(〃)
- ⑧50周年アルバム刊行について(〃)
- ⑨千曲会強化について(東京支会)
- ⑩飯田地区(下水内, 上高井, 下高井)支会の設立について(北信支会)
- ⑪学部改新の強力なる推進について(本部)(東京支会)

⑫役員改選について、顧問相談役の推挙および賛助員の推挙(本部)

○昭和34年度収支決算：町田理事より別表により説明あり母袋忠右衛門監事の監査報告あり原案決定承認された。

○50周年記念事業決算報告：一野口理事長説明決算は千曲会および業界並びに地元官民の協賛会との合同したものであり別表逐一説明あり、なお協賛会は未納金の集金等残務を千曲会に移して解散した。神林監事より監査報告あり別紙の通り承認された。ここで午前の日程を終り記念撮影後昼食。

○50周年記念事業千曲会施設拡充について野口理事長より説明90万円を千曲会基本財産として繰り入れ保管することを承認。

○50周年記念事業剰余金の処理について：一剰余金は未納金の集金とともに本会基本財産として施設拡充費にあてることを承認

○上田繊維科学振興会設立について：一規則運営方法記念事業費より生じた振興会基金保管については早急に振興会設立委員会をつくらせて考えてむらうことに決定した。

○36年度収支予算案：一本会事業費として千曲会報の発行は原案は4回となっておるが会員のつながりを確保するため支会活動強化のため毎月発行を続ける

意見が多く、香山清和氏を編集理事に加えて毎月発行に決定した。

○針塚長太郎先生追想録刊行について：一刊行委員会をつくり予約募集して発行することに決定。

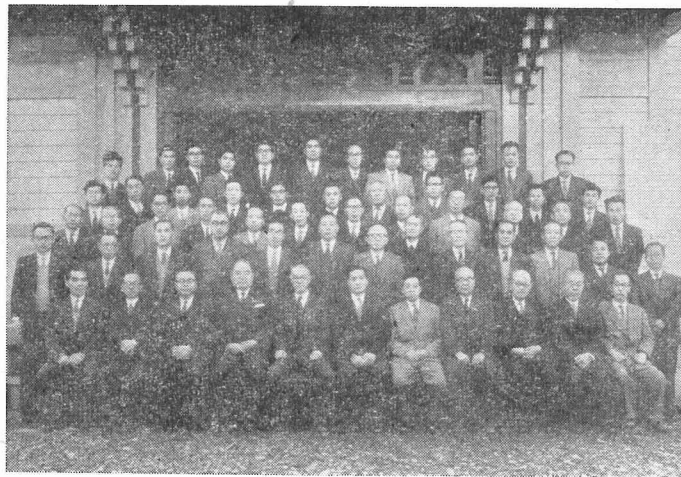
○50周年記念アルバム刊行本部に一任。

○千曲会強化について：一各支会より会費徴集の能率化、支会報発行の状況報告あり。会費納入成績の良い会員(例えば35年以上完納)の会費免除については決定にいたらず本部で尚審議することに一任された会員名簿の贈呈は会報第93号(34年10月号)掲載のとおり協賛規定額を応募完納会員に無料贈呈を承認。

○学部改新について：一小泉学部長より現段階の詳細なる説明あり新学科繊維機械学科の新設は90%以上の確率で認められておるので高校へのPRを行い優秀学生を集めたい。各代議員より強力なる推進策の意見があり、又研究者養成の単科大学昇格に前進せよ等色々意見があったが学部改新については学部長に一任に決定。

○飯高地区(下水内・上・下高井)の支会設立について：一北信支会の提案が承認された。

○役員改選について：一13名の銜衝委員による25名の新理事および新に顧問として野口前理事長・八木誠政氏が万場拍手の内に推挙され、相談役評議員の推挙選出については理事会に一任された。



昭和36年度千曲会役員 (順序不同)

- 理事長** 荻原清治
副理事長 小林運美 (新) 母袋忠右エ門
理事 荒木 喬 井沢喜三 大山 融 齋藤義臣 中木 武 (新) 笠原正巳 山崎 寿 宮城 博 小山 清 香山清和 (新) 加藤秀次郎 (新) 杵掛久雄 和田 晋 (新) 小林尚一 (新) 松尾卓見 坂口育三 白井美明 田口亮平 中島 暹 北条舒正 町田 博 山口定次郎 (新) 佐藤 一 神林浩三 (新) 竹内善吾 茂原重雄 (新) 山崎譽録
監 事 浦生俊興 倉沢美德 林 貞三 (新) 野口新太郎 (新) 八木誠政
顧問 高木三次 野崎 清 橋詰英雄 (新) 猪坂直一 (新) 小宮山太助 (新) 有賀文雄 (新) 伊藤 競
相談役 高木三次 野崎 清 橋詰英雄 (新) 猪坂直一 (新) 小宮山太助 (新) 有賀文雄 (新) 伊藤 競
評議員 (順序不同) ○……支会長

○池田正五郎 ○和田敦 ○向非玖弥 山本友之丞 ○栗原章 ○藤井富美男 ○船後勇平 ○高橋一 土屋孝 黒沢裂彦 ○大沢宝市 岩本賢次 奥村忠次 清水良一 佐藤雅久 宇治義春 三谷勝 宮前邦雄 ○武田一好 山本岩三郎 唐木田藤五郎 石原六朗 ○秋山利夫 倉沢文夫 ○彼末武猪 ○新野武雄 ○高品善一郎 ○鶴田定平 ○山崎保太 伊藤常治 安川寛 ○野沢司馬作 阿部丈夫 松永省治 川上保人 中村治三郎 窪田作水 桜井隆夫 母袋良平 茅野功 塚田典次 山岸寅雄 池田忠夫 戸田正行 永井真吉 水口米雄 ○荒井猛 飯田一郎 今井甲子男 土屋茂一郎 永井千治 北条五郎右エ門 ○小松忠幸 手塚政吾 林清市 丸田巖 松岡潔 ○石塚浪之助 市瀬武寿 松下紀男 ○鍵谷伝 ○戸倉惣兵衛 熊田喜代志 ○白井武 佐藤一 今吉築郎 飯島貞雄 安井健一 星田馨 ○石坂虎治郎 中尾七郎 ○大塚重蔵 鈴木玄九 ○小林清志 ○黒岩覚 上山巖 ○江野村一雄 ○宇根山哲夫 ○内川勇 工藤見吉 ○緒方善之助 ○窪田禎作 ○小山祖光 ○深迫明 ○中島茂 ○中山吉二 一ノ瀬匡興 土屋幾雄 小山長雄 関博夫 三石賢 石川博 竹田寛 田中茂光 田中一行 青沼茂 中原武 古平福紀 美齊津利正 桜井善雄 押金健吾 大屋正尚 遠藤恒久 阿久津伊平 柳沢幸男 西村善次 篠原昭 計107名
 尚○印は支会長殿であります。評議員の各位には夫々御選出を受けられた御通知を差上ぐべきところ経費節約のため本会報を以て換えさせて戴きます。

第21回千曲会総会出席者 (順序不同)

- 名誉会長** 小泉清明 前名誉会長 林 貞三
顧問 浦生俊興 倉沢美德
相談役 八木誠政
理事 野口新太郎 猪坂直一 小林運美 井沢喜三 大山融 荻原清治 香山清和 齋藤義臣 坂口育三 田口亮平 中島暹 町田博 宮城博 山口定次郎 小山清
監 事 神林浩三 小林尚一 母袋忠右エ門 北奥支会

北沢周一 茨城支会 船後勇平 群馬支会 浜井寿夫 岩岡辰雄 東京支会 岩本賢次 唐木田藤五郎 篠原定雄 直井利雄 神奈川支会 萩野喜次 南佐久支会 野沢司馬作 更埴支会 北原喜昌 北信支会 飯田一郎 戸田正行 諏訪支会 村山穰助 愛知支会 杵掛久雄 近畿支会 石坂虎治郎 兵庫支会 岸本礼一 高知支会 柄沢昌一 上小支会 佐藤一 竹内善吾 北条五郎右エ門 島田林助 岩田正人 桜井隆夫 母袋良平 白井要範 山崎譽録 関博夫 竹田寛 小山長雄 松尾卓見 古平福紀 中原武 柳沢連子 美齊津利正 土屋幾雄 田中一行 田中茂光 桜井善雄 押金健吾 三石賢 大工原健 大屋正尚 清水隆三 宮下明治 飯島莊資 篠原昭 小笠原真次 東川静夫 窪田衛二 松橋房江 野沢潤子 西村善次 柳沢幸男

昭和34年度社団法人千曲会才入才出決算書

歳入決算高 金610,587円
 歳出決算高 金592,998円
 歳入歳出差引残高35年度繰越 金 17,589円

昭和35年11月23日

社団法人千曲会理事長 野口新太郎

歳 入					
種 目	本年度決算額	本年度予算額	増	減	附 記
1.基本財産より生ずる利子	25,643	22,200	3,443		
2.前年度繰越金	29,918	50,000		20,082	
3.雑 収 入	40,046	17,600	22,446		
(1)広 告 料	16,836	15,000	1,836		会報広告
(2)印 税	—	100		100	
(3)現金預金利子	6,555	2,000	4,555		網糸の構造売却代等
(4)雑 入	16,655	500	16,155		
4.入 会 金	48,400	48,000	400	173,	
5.会 費	466,580	640,000		420	
6.寄 附 金	—	400	—	400	
歳 入 合 計	610,587	778,200		167,613	

歳 出					
種 目	本年度決算額	本年度予算額	増	減	附 記
1.会 議 費	28,773	40,000		11,227	
(1)代議員旅費	18,710	20,000		1,290	
(2)総会需用費	2,093	6,000		3,907	
(3)役員旅費	5,850	8,000		2,150	
(4)役員会需用費	2,120	6,000		3,880	
2.事 務 所 費	88,943	169,200		80,257	
(1)幹事給料		100		100	
(2)書記給料	63,000	91,000		28,000	
(3)旅 費	8,600	20,000		11,400	支会出席
(4)備 人 料	500	1,000		500	
(5)役員交際費		2,000		2,000	
(6)賞 与		100		100	
(7)備 品 費	600	5,000		4,400	修繕料
(8)消 耗 品 費	6,970	10,000		3,030	

(9)会費集金費	5,853	30,000		24,147
(10)通信運搬費	3,420	7,000		3,580
(11)雑費		3,000		3,000
3.事業費	309,862	323,500		13,638
(1)会報発行費	307,807	313,000		5,193
1.綿集費	9,000	15,000		6,000
2.印刷費	179,500	156,000	23,500	
3.送料	113,447	132,000		19,553
4.需用費	5,860	10,000		4,140
(2)出版費		100		100
(3)会員名簿費		100		100
(4)講演講習諸費				
(5)研究補助費				
(6)調査費				
共済費	2,055	10,000		7,945
4.基本財産造成費	48,400	48,000	400	
(1)蓄積費	48,300	47,900	400	
(2)針塚賞資金	100	100		
5.会費納入交付金	108,890	140,000		31,110
6.予備費	8,130	57,500		49,370
歳出合計	592,998	778,200		185,202

昭和34年度基本財産状況

種 目	収 入	支 出	現在高	備 考
基 本 財 産				
前年度繰越金	364,231円			
本年度利子収入	24,943			
本年度積立金	48,300			
通常会計繰入高		24,943		
差引残高			412,531	三菱信託
針塚賞資金				
前年度繰越金	9,285			
本年度利子収入	700			
本年度積立金	100			
通常会計繰入金		700		
差引残高			9,385	三菱信託

昭和34年度特別会計

収 入		支 出	
前年度繰越高	410,622円	雑費(共済費)	2,065円
利子収入	34,630		
合 計	445,252	合 計	2,065

差引残高 443,187円昭和35年度へ繰越す。

昭和34年度特別活動資金

収 入		支 出	
前年度繰越高	271,642円	就職幹旋委員会費	
寄付金	3,400	旅 費	27,300円
利子収入	6,916	募 金 経 手 数 料	140

合 計	281,958	合 計	27,440円
-----	---------	-----	---------

差引残高 254,518円昭和35年度へ繰越す。

昭和34年度理髪所収支決算書

収 入		支 出		備 考
項 目	金 額	項 目	金 額	
前年度繰越金	4,163円	給 料	169,909円	理髪師
理髪代收金	189,360	備 品 費	5,350	事務員
		消 耗 品 費	400	電気バリカン
		借 家 料	5,614	
		電 気 料	4,391	
		水 道 料	1,404	
		交 付 金	4,123	理髪所取扱交付金
合 計	193,523	合 計	190,891	

差引残高 2,632円 昭和35年度へ繰越す。

昭和34年度 たばこ販売収支計算書

収 入		支 出		
項 目	金 額	備 考	項 目	金 額
前年度繰越高	25,355	外現物 104,070	たばこ仕入高	832,186
たばこ売上高	898,430		組 合 費	2,177
雑 収 入	1,670		事 務 員 給 料	65,000
			取 扱 手 数 料	24,672
合 計	925,455		雑 費	340
			合 計	924,375

差引残高 1,080円 昭和35年度へ繰越す。

外 現 物 114,921円

昭和36年度社団法人千曲会歳入歳出予算書

歳 入 予 算 高 金 865,300円

歳 出 予 算 高 金 865,300円

歳入歳出差引残金 な し

昭和35年11月23日提出

社団法人千曲会理事長 野口新太郎

歳 入

種 目	本年度 予算額	前年度 予算額	増	減	備 考
1.基本財産より生ずる利子	109,600円	29,400円	80,200円		
2.前年度繰越金	20,000	50,000		30,000	
3.雑 収 入	23,300	22,400	900		
1 広 告 料	20,000	20,000			
2 印 税	100	100			
3 当座予金利子	2,000	2,000			
4 雑 入	1,200	300	900		会館使用
4.入 会 費	52,000	52,000			
5.会 費	660,000	660,000			
6.寄 附 金	400	400			
歳入合計	865,300	814,200	51,100		

種 目	歳 入		出		備 考
	本年度 予算額	前年度 予算額	増	減	
1. 会 議 費	56,000	75,000		19,000	
1 代議員旅費	30,000	50,000		20,000	1,000円 ×30人
2 総会需要費	6,000	6,000			
3 役員旅費	10,000	12,000		2,000	1,000円 ×10人
4 役員需用費	10,000	7,000	3,000		
2. 事務所費	273,100	174,200	98,900		
1 幹事給料	100	100			
2 書記給料	100,000	91,000	9,000		
3 旅 費	24,000	24,000			1,200円 ×20人
4 備 人 料	80,000	1,000	79,000		
5 役員交際費	10,000	3,000	7,000		
6 賞 与	10,000	100	9,900		
7 備・品 費	10,000	5,000	5,000		
8 消耗品費	10,000	10,000			
9 会費集金費	20,000	30,000		10,000	
10 通信運搬費	7,000	7,000			
11 雑 費	2,000	3,000		1,000	
3. 事業費	288,500	333,500		45,000	
1 会報発行費	278,000	323,000		45,000	
1) 編集費	4,000	15,000		11,000	
2) 印刷費	120,000	166,000		46,000	
3) 送 料	144,000	132,000	12,000		30,000円 ×4人
4) 需用費	10,000	10,000			
2 出版費	100	100			
3 会 員 名 簿 発 行 費	100	100			
4 講演講習諸費	100	100			
5 研究補助費	100	100			
6 調査費	100	100			
7 共 濟 費	10,000	10,000			
4. 基本財産増成費	52,100	52,000	100		
1 蓄 積 費	52,000	51,900	100		
2 針塚賞資金	100	100			400円× 130人
5. 会費納入交附金	155,000	143,000	12,000		
6. 予 備 費	40,600	39,500	4,100		
歳 出 合 計	865,300	814,200	51,100		

(1)千 曲 会 員	5,548,446	千曲会員(学部職員を含む) 明細別紙のとおり
(2)在 学 生	380,000	
(3)業 界	2,001,000	派31,6万糸44,9万紡83,6万化 40,0万
(4)上 田 市 業 界	592,000	市内業界 582,000当日祝儀 10,000
(5)上田市自治会	269,000	269名
(6)県 市	490,010	長野県290,010上田市200,000
2. 利 子	89,639	預金利子
合 計	9,370,094	

2. 支 出		
費 目	決算額	備 考
事 務 費	1,015,885	別紙(1)明細書のとおり
上田繊維科学振興会 設 立 費	3,000,000	
千 曲 会 施 設 費	900,000	
祝 賀 行 事 費	3,356,238	別紙(2)明細書のとおり
学 部 発 展 に 関 する 経 費	993,520	
合 計	9,265,643	

(別紙1) 50周年記念事務費(主として千曲会関係) 決算書

費 目	決算額	備 考
1. 会 議 費	147,567	
(1)役 員 旅 費	108,300	実行委員会旅費
(2)需 用 費	39,267	役員会需用費
2. 事 務 費	325,628	
(1)旅 費	95,380	支会連絡旅費
(2)書 記 給 料	55,000	
(3)備 人 料	15,900	
(4)消 耗 品 費	19,878	
(5)通 信 運 搬 費	66,708	支会通信事務費
(6)印 刷 製 本 費	43,415	50周年記念特集号4,500部 印刷その他
(7)雑 費	29,347	沿革史追加分その他
支 会 募 金 経 費	542,690	別紙(3)明細書のとおり
予 備 費		
計	1,015,885	

(別紙2) 50周年記念行事費 決算書

費 目	決算額	備 考
1. 事 務 費	265,065	
(1)会 議 費	47,726	発起人会費, 役員会費, 総会費
(2)旅 費	166,720	業界募金旅費
(3)通 信 運 搬 費	21,101	協賛会員通信費, 学生父兄通 信費, その他
(4)記 録 そ の 他	29,518	写真及8ミリフィルム, 祝賀 徽章外
2. 印 刷 費	91,336	招待状, アーチ作製, 趣意書 ポスター代
3 記 念 品 費	1,334,998	
(1)風 呂 敷 代	741,474	3,900枚代, 送料容器, その他

信州大学繊維学部50周年記念事業費決算書

収入決算高 金 9,370,094円
 支出決算高 金 9,265,643円
 収入支出差引残高 金 104,451円

昭和35年11月23日

社団法人千曲会理事長 野口 新太郎

1. 収 入

費 目	収入額	備 考
1. 会 員 費	9,280,456	

(2) 会員名簿代	298,024	2,300部代, 送料
(3) 沿革史代	255,500	3,500部代, ペーパーバック
(4) 記念品発送費	40,000	1,666部発送代
4. 祝賀会費	700,000	
(1) 祝宴費	508,300	宴会費(1,800人)卓布, その他
(2) 式場設備費	191,700	祝宴会場仮設工事費
5. 接待費	105,815	
(1) 接待費	37,092	生花, 花器代, 茶菓代, その他
(2) 宿泊配車費	68,733	配車代, 来客接待費
6. 表彰及追悼会費	127,940	
(1) 勤続功労者表彰	97,760	記念品代, 表彰式外
(2) 物故者追悼会費	30,180	僧侶謝礼, 供物代, 遺族接待費
7. 記念講演会費	269,353	講師謝金, 講師役員宿泊, 旅費 ポスター, チラシ, その他
8. 学内行事費	351,731	
(1) 展示会費	189,408	各科展示費, 総合展示会, 共通費
(2) 学生行事費	162,323	前夜祭費, 学生新聞費, 運動会 賞品代, 寮祭, 謡曲部費, 各部 権費
9. 記念研究報告 刊行費	100,000	記念学術報告補助
10. 警備費	10,000	有刺鉄線, 投光機外
合 計	3,356,238	

静岡	岡	65,000	13,000	24	78,000
愛知	知	397,800	25,000	211	422,800
三重	重	133,100	26,500	61	159,600
近畿	畿	292,500	35,900	130	327,500
兵庫	庫	178,400	2,200	68	180,600
三丹	丹	154,500	5,000	46	159,500
山陽	陽	136,500	4,000	51	140,500
山陰	陰	34,000	13,000	18	47,000
徳島	島	47,500	1,500	16	49,000
高知	知	17,500	—	9	17,500
愛媛	媛	76,000	4,000	24	80,000
香川	川	10,000	—	1	10,000
北九州	州	82,500	5,000	31	87,500
熊本	本	29,500	—	12	29,500
宮崎	崎	29,500	—	9	29,500
鹿児島	島	42,000	—	14	42,000
沖縄	組	13,000	—	3	13,000
特別寄付	鮮	13,000	—	3	13,000
計		5,548,446	649,750	2,375	6,198,196

母校50周年記念事業費寄付金収入調 (千曲会関係) (別表3)

支会名	収入額	未収入額	人員	金額
北海道	13,500	1,000	6	14,500
北奥	49,900	—	29	49,900
山形	59,000	—	17	59,000
宮城	60,400	31,600	28	92,000
福島	146,500	13,000	57	159,500
茨城	70,500	10,000	44	80,500
栃木	41,000	—	21	41,000
群馬	206,000	41,700	76	247,700
埼玉	134,500	44,700	80	179,200
千葉	71,000	—	21	71,000
東京	517,100	33,500	200	550,600
神奈川	154,500	12,500	60	167,000
山梨	54,000	—	24	54,000
越後	62,500	6,500	23	69,000
富山	85,000	6,500	44	91,500
石川	40,800	2,450	19	43,250
福井	23,500	13,200	14	36,700
北佐久	72,900	41,000	35	113,900
南佐久	55,500	10,000	30	65,500
上小	549,700	76,000	252	625,700
学内	474,546	2,000	168	476,546
更埴	136,900	55,000	72	191,900
北信	239,100	46,900	118	286,000
安曇	181,000	35,000	88	216,000
諏訪	165,000	10,000	53	175,000
竜川	41,300	18,000	30	59,300
岐阜	90,500	8,000	35	98,500

母校50周年記念事業費寄付金収入調 (支会別)

標記に関しては上表に表示のとおりであります。現在申込額6,198,196円 2,375名に対し、募金納入金額は5,548,446円であります。未収入額は尚 649,750円の多額であります。御申込額によって予定をたて本50周年記念事業が行われたのでありますから、何卒御了解の上申込額まで御送金に預りたく御願を申し上げます。尚現在12支会が完納になっている状況であります。また只今募金送金もありますので行違ひによって失礼を申上げるようになった支会には不慮御了承下さい。

伊藤武男監修

絹糸の構造

45判 550頁 図360余 1,300円

残部あり御希望の方は御申し込み下さい

上田市常入信大繊維学部内

千曲会出版部
振替東京43・341

信州 武田味噌

長野県上田市柳町3.595番地

武田味噌醤油醸造株式会社

武田 兵助 (織農1回卒)
電話 (上田) 2.280番

会員近況

大正13年同期会の記

香山清和

○
僕が昭和35年4月11、12日の第2回紡3同級会の記事を8月号の千曲会報に書いた中で蚤、糸、紡を合せた同期会をやったらどうだと提案したが、その勧めに従った訳でもあるまいが(青木友弥君の大正13年卒業生同期会の記事の中に……別に香山君に影響された訳ではない……と断つてあるから影響はなかったであろう)34年6月30日東京で同期会が開催され更にその第2回が同年11月22日同じく東京で開催され、その席上、第3回の同期会を10月20日の母校50周年記念祝賀式当日上田附近でやることとしその世話人として水城孝勇君、石井謙三君と僕とに決めた事を千曲会報の記事で知った。欠席判決であり僕は引受けてもいないので名前丈であろうと何等の責任も義務も感じていなかった。処が本年8月27日別所温泉南条旅館で上田中学20回卒同期会が開催され僕が出席したら(千曲会関係では小泉清明君、和田晋君、宮城博君、水城孝勇君が出席した。この会合はつまり小泉君の学部長就任祝賀の意味もあった)席上水城君から20日の同期会の世話を地元の意味で僕がやるように頼まれた根が甘くて気の弱い僕はことわりが云えず押付けられてしまった。水城君と打合せの結果、場所は別所温泉とすること、旅館としては一応本日の会場たる南条旅館(最近大改築をして面目一新した)が候補に上がったが一切は僕にまかせると云うことであった。引受けさせられた以上何んか格好をつけなければならぬ。

それで9月21日別所温泉に至り種々迷った名の知れている方がよいと思ひ花屋ホテルを訪れ予約をする。9月25日同期会通知を桂応祥君、中津信一郎君(住所不明)を除き26名に発送する。更に10月8日には返事の来ない奥野君、田角君、関口君、塩田君に督促状を出す。同時に水城君、石井君に現況を報告する。両君の応援の効果もあり結局15日までは全員の返信に接し出席予定13名と云う事になった。同時に深田銀作君が数年前に死亡した事を知った。

○
欠席通知中には唯欠席と一言記した人

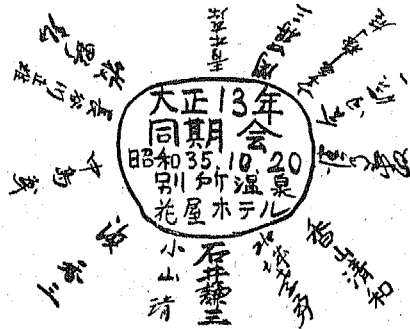
もあるが次の諸氏からは欠席理由なり感想が述べられてあったので下に書く。

○池田正五郎君

行きたいが行けぬ。遠いからね。25周年には満州から来ましたね。集まった面々の中に老残の面影なきを祈る。併せて皆元気で長生きすることを祈る。そして何時か逢える。

○岩根 謙君

先日御回答を申上げて置きました10月20日夜の同期会には残念ながら11日県の農政部課長の送別会を開催するにより出席方通報が参りましたので20日の記念式



終了後直ちに夜行にて帰宅する考でありますので出席取消をお願い申し上げます。(送別会がそんなに大事かね)

○猪瀬 親二君

30年前の学友の会合とし積る話もつきぬ事と存じます。早速馳せ参じたいのですが農家としては農繁期で稲刈、脱穀、麦播等々猫の手も借りたい時ですので申訳ないが欠席させて頂きます。貧乏日暇なし……皆さんによるしく。

○田角又十郎君

都合により欠席させて頂きます。(何んの都合ですかねえ)

○塩田 健介君

皆様によろしくお伝え下さい。

○柳沢 忠次君

お懐しく存じます。皆様の御健康を祈り上げます。病中なので欠席いたします。殆んどよくなりましたが未だ遠出する自信がありませんので。

○

10月20日の母校50周年記念祝賀式当日は来た。秋晴れのよき日である。10時から校庭に仮設された会場で祝賀式次で会食が行われた。僕はその中で同期会の仲間を捕えようと歩き廻った。そして宮本君、清水君、水城君、小山君、石井君、会田君、中島君に会う。大部分は直ちに別所に向う。僕は用件を済ませて3時発

の電車で別所温泉へ行く。車中牧野君、長谷川君に会い一緒に花屋ホテルに行くホテルに着いて見ると今まで会った諸君は全部到着していた。五時頃関口君、浜君、青木君到着する。これで僕を加え出席13名となり出席予定者全員が揃った訳である。会員の半数出席となりまあ好成绩と云うべきであろう。出席者の中には卒業以来始めて実に36年振りの対面と云うのもある。それでも時間が経つと昔の面影が出て来るらしい。僕は関口君とは本当に初対面のようにだったし会田君、長谷川君にも名前を聞いて漸く思出したと云う始末である。正気の内にと云う訳で一同揃った処で早速寄せ書をする。柳沢忠次君宛に見舞の葉書を書き之れにも寄せ書をする。

僕は6時から上田公園内富貴で行われる紡織卒業生の会合に出席することになっているので野口氏に電話をかけて見たら皆集って僕の来ないのを怒っているとのことだったので、後は水城君と石井君に頼み6時半頃、浜君と共に(宮本君は残留することとなる)ハイヤーを飛ばせて上田へ行く。1時間許りで花屋ホテルへ戻る。懇親会は既に最高頂に達していた。早速その雰囲気の中に融け込む。僕の留守中に50周年醸出金に出さない者に記念式の案内状が出なかったことについて議論が沸騰しその処置のよくなかったことを僕から千曲会本部に申入れるよう決議されたと聞かされた。田角君の欠席もそれに多少関係しているらしい。上田へ行くハイヤーの車でも浜君からその不満を聞いた。

酔いつかれぬ内にと牧野君のカメラでホテルの人に頼んで記念撮影をして貰う。我々の仲間には始めから酒を呑まない者は居らないらしいが寄る年浪で酒が呑めなくなった者、老いて益々強くなった者とある。そんな訳で酒の代りにジュースを呑んでいる者、いくら酒やビールを追加しても間に合はない者に分れて来る。それで弱者から1人立ち2人立ちで何時の間やら散会になったが酒間を斡旋した芸妓が昔馴染だと一緒に出掛けた者、芸妓につきまといわれて逃げかくれた者、按摩を頼んで揉ませている者等色々であったが、結局12時過ぎまで寝床の前でメートルを挙げていた猛者達は清水君、関口君、水城君のようであった。(名前をあげて悪かったな?)それでも流石に徹夜は出来ないらしく間も無く静

かになった。

翌日は7時半頃お神酒を1本宛立てて朝食を執る。その席上我々はもう60才近くになったので欠ける人の出ない内に毎年会合はやろう。そして来年は水城君が世話人で松本市つまり浅間温泉でやることとし1人でも多く出席するよう本日出席の各々が出席しなかった者に働きかけることに決定した(尤もこの決定は前夜僕の上田行の留守に行われたことの再確認だそうである)朝食が済むと殊勝らしく北向観音のお守札入りのみすず飴を土産に持ち8時半から9時迄の間に一同は帰って行った。僕と水城君は後に残って勘定を済ませる。勘定書を見て酒を呑んだ量の多いのに改めて驚いた。水城君と共に花屋ホテルを辞し会場を変更したイキサツもあるので南条旅館へ一寸敬意を表し11時52分発の電車で帰った。

○

大正13年卒同期会もどうやら無事に終了した。頭の回転の遅い僕もやる事だから手落ちなくやれる筈がない。懇親会の始まる直前に紡織科の会合に一寸顔を出すために席をはずした事、勢にまかせて会費を大分超過させた事、予定した事を実施しなかった事等々まづかった点を数えあげると切りがない。種々御不満もあった事と思うがお許し願ひ度い。一つ残念に思うのは岩根君が記念式に出席しながら大して必要とも思えない会合に出席を理由に参加しなかったことである。

一人丈不明であった中津君の住所を青木君、宮本君から報告をえたので完全な同期会名簿が出来た。写真は牧野君が原板を送って呉れる筈なので同期会名簿と記念写真と会計報告を合せて追って御送付申上げる予定である。尤も千曲会報は編集がスロモーだからこの記事の方が後になるかも知れない。

村山守生氏 (学化1回大同染工)

ヨ ロ ッ パ へ

村山守生氏はスイス、フランス、西ドイツの染色技術調査のため約3ヶ月の予定で去る10月8日エアー、フランス機で羽田空港を出発された。(矢彦沢清允)

兵庫支会総会便り

菊香薫る11月11日ネオンきらめく国際港都神戸の夜影を一望に眺められる山手の翠甲園に於て恒例の兵庫支会総会を開催した。

当日は大塚支会長沖(糸2)中島(蚕5)石坂(糸5)若林(糸10)等の長老に中堅、新進気鋭の学士諸兄まで20余名が席を交へ心温まる一夕をすごした。

席上まづ大塚支会長の挨拶並びに50周



年記念事業出席報告に始まり鈴木副会長より50周年記念事業会計報告、望月会計幹事より経費収支決算の報告も滞りなく



承認され宴に移る。宴席上大塚支会長の50周年記念祝賀式参列の際記念撮影された天然色による祝賀風景のスライド映写があり、石坂、鈴木、千葉諸氏の祝賀式参列組の説に全員昔を偲び灘の美酒に陶然となり時間を忘れての昔話思い出噺に花を咲かせ寄書、記念撮影のち兵庫支会の万歳を三唱し散会した(紡24岸本記)

母校だより

12月3日(土)信州大学科学教育研究室修了式が挙行された。

12月25日学生はこの日から冬期休業に入る。

上田繊維科学振興会設立委員会委員委嘱
50周年記念事業として設立が決定して
おる上田繊維科学振興会設立については
第21回定期総会において一切を設立委員
に一任されたので学部長、理事長、連名
をもって次の9氏に設立委員を委嘱し
た。

学内理事田口亮平、山口定次郎、坂口育三、蒲生俊興、八木誠政、香山清和、学内学科主任柳沢延房、三浦乾太郎、大平敏彦の各氏、なお第1回設立委員会は12月22日午後1時より学部長室において開催する。

第1回理事会報告

12月5日千曲会館において役員改選後の第1回理事会が開催された。萩原理事長初め理事14名、小泉学部長野口前理事長も出席された。委任状は小林副理事長外7名で、萩原理事長議長として議事を進行した。議題①役員選出については、総会で決定を一任された相談役評議員の選出は本誌7頁のとおり決定。②本会運営の事務分担については本誌5頁の通り決定。③針塚先生追想録刊行については刊行委員会を設立して企画刊行に決定。④50周年記念アルバム刊行については実費販売で予約募集して刊行することに決定

本会日誌

- 12月1日 学内理事会開催
- 12月5日 改選役員による第1回理事会開催。
- 12月9日 会報編集委員会開催。
- 12月10日 動静部委員会開催。
- 12月13日 学内評議員幹事合同打合会開催。
- 12月14日 上田繊維科学振興会設立委員会委員に委嘱状発送。
- 12月16日 針塚長太郎先生追想録刊行について出版部の打合会開催。
- 12月16日 愛知支会長杏掛久雄氏来会
- 12月22日 上田繊維科学振興会設立委員会開催。

編集後記

1961年の年頭にあたり、各位の益々御繁栄にわたられるよう御祈り致しますと共に学部改新に絶大なる御高配を賜り度く御願ひ申し上げます。

編集部員一同

- | | |
|-------|-------|
| 田口 亮平 | 白井 美明 |
| 矢彦沢清允 | 篠原 昭 |
| 降旗 剛寛 | 小笠原真次 |
| 滝沢 達夫 | 白井 要範 |